

# 陸連時報 三

2015  
平成27年

9

月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

## 目 次

2015年度主要競技会日程	214
強化関連情報(強化委員会)	
第2回日中韓3カ国交流陸上競技大会報告(日本選手団監督 原田康弘(理事・強化委員長))	215
IAAF 競歩チャレンジ ラコルーニャ大会報告(強化委員会競歩部長 今村文男)	218
第15回世界陸上競技選手権(2015/北京)	
トラック&フィールド日本代表選手メッセージ	219
科学委員会活動報告	
(日本グランプリシリーズ、日本選手権など)(科学委員長 杉田正明)	222
長野マラソン「レース直前対策講座とランニング相談会」報告	
(普及育成委員会ランニング普及部長 前河洋一)	224
2015 数字で見る陸上競技 Vol.1 都道府県公認競技会数	225
大会観戦ガイド	226
陸協NEWS	228
事務局からのお知らせ	230

## 公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

# 2015年度主要競技会日程

2015.6.25時点

	主催競技会			主要競技会			国際競技会		
	期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所
4月	19(日)	99 日本選手権 50km 競歩	石川	4(土) ★	24 金栗記念選抜中・長距離	県民総合(熊本)			
	19(日)	17 長野マラソン	長野	11(土)~12(日) ★	69 出雲陸上	浜山(島根)			
				18(土)~19(日) ★	GP ① 織田記念陸上	広域公園(広島)			
				25(土)~26(日) ★	GP ② 日本選抜陸上和歌山	紀三井寺(和歌山)			
			25(土)~26(日) ★	GP ③ 兵庫リレーカーニバル	ユニバー記念(兵庫)				
5月	10(日)	ゴールデングランプリ	等々力(神奈川)	3(日) ★	GP ④ 静岡国際陸上	エコパ(静岡)	2(土)~3(日)	ワールドリレーズ	ナッソー(バハマ)
				9(土) ★	26 ゴールデングেমズ in のべおか	延岡(宮崎)	8(金)~11(日)	1 アジアユース陸上競技選手権	ドーハ(カタール)
				10(日) ★	25 仙台国際ハーフマラソン	宮城			
				17(日) ★	5 ぎふ清流ハーフマラソン	岐阜			
				31(日) ★	15 水戸招待陸上	Kスタ水戸(茨城)			
6月	26(金)~28(日)	99 日本陸上競技選手権	デンカビッグスワンスタジアム(新潟)	12(金)~14(日) ○	15 日本学生個人	平塚(神奈川)	3(木)~7(日)	21 アジア陸上競技選手権	武漢(中国)
				28(日) ★	30 サロマ湖100kmウルトラマラソン	北海道	22(月)	アジアグランプリ①	バンコク(タイ)
7月	4(土)~5(日)	99 日本陸上競技選手権混成	長野市営(長野)				25(木)	アジアグランプリ②	パトゥムターニー(タイ)
	4(土)~5(日)	31 日本ジュニア選手権混成	長野市営(長野)				29(月)	アジアグランプリ③	チャンクブリー(タイ)
	12(日)	2 日中韓3カ国交流陸上	厚別(北海道)	12(日) ★	28 南部記念陸上	厚別(北海道)	8(木)~12(日)	28 ユニバーシアード	光州(韓国)
	29(水)~8(2日)	68 全国高校陸上	紀三井寺(和歌山)	25(土) ★	55 実業団・学生対抗	平塚(神奈川)	15(木)~19(日)	9 世界ユース陸上競技選手権	カリ(コロンビア)
8月	13(木)~15(土)	50 全国定通制高校陸上	駒沢(東京)				5(木)~16(日)	21 世界マスターズ選手権	リヨン(フランス)
	18(火)~21(金)	42 全国中学生陸上	厚別(北海道)	2(日) ★	40 蔵王坊平クロスカントリー	上山(山形)	22(土)~30(日)	15 世界陸上競技選手権	北京(中国)
	22(土)	31 全国小学生陸上	日産スタジアム(神奈川)				23(日)~29(日)	23 日韓中ジュニア交流競技会	済州(韓国)
	29(土)~30(日)	3 全国高校陸上選抜	ヤンマーフィールド長沼(大阪)						
	29(土)~30(日)	50 全国高専陸上	博多の森(福岡)	30(日) ★	15 北海道マラソン	北海道			
9月				11(金)~13(日)	○ 84 日本学生対校	長居(大阪)			
				25(金)~27(日)	★ 63 全日本実業団	長良川(岐阜)	12(土)	28 IAU100km 世界選手権	カンクン(オランダ)
10月	2(金)~6(火)	70 国民体育大会	紀三井寺(和歌山)	12(祝・月)	○ 27 出雲全日本大学選抜駅伝	島根			
	16(金)~18(日)	31 日本ジュニア選手権	瑞穂(愛知)	25(日) ★	54 全日本50km競歩高島	山形			
	16(金)~18(日)	9 日本ユース選手権	瑞穂(愛知)	25(日) ★	5 大阪マラソン	大阪			
	23(金)~25(日)	99 日本選手権リレー	日産スタジアム(神奈川)	25(日) ○	33 全日本大学女子駅伝	宮城			
	23(金)~25(日)	46 ジュニアオリンピック	日産スタジアム(神奈川)	30(金)~11(日)	★ 36 全日本マスターズ	長良川(岐阜)			
11月				1(日) ○	47 全日本大学駅伝	愛知・三重			
	15(日)	1 さいたま国際マラソン	埼玉	8(日) ★	12 田島記念陸上	維新百年記念(山口)			
				8(日) ★	31 東日本女子駅伝	福島			
				15(日) ★	5 神戸マラソン	兵庫			
				13(日) ★	27 全日本びわ湖クロスカントリー	希望が丘(滋賀)			
12月	6(日)	69 福岡国際マラソン	福岡	13(日) ★	35 全日本実業団女子駅伝	宮城			
	13(日)	18 小学生クロスカントリーリレー	万博記念公園(大阪)	13(日) ★	15 長崎陸協競歩	県立総合(長崎)			
	13(日)	23 全国中学駅伝	山口	20(日) ★	46 防府読売マラソン	山口			
	20(日)	66 27 全国高校駅伝	京都	23(祝・水) ★	34 山陽女子ロードレース	岡山			
					○ 15 全日本大学女子選抜駅伝	静岡			
2016年1月	17(日)	34 都道府県対抗女子駅伝	京都	1(祝・金)	64 元旦競歩	東京			
	24(日)	21 都道府県対抗男子駅伝	広島	1(祝・金)	16 全日本実業団駅伝	群馬			
	31(日)	35 大阪国際女子マラソン	大阪	31(日)	60 大阪ハーフマラソン	大阪			
2月	14(日)	51 千葉国際クロスカントリー	昭和の森(千葉)	7(日)	65 別大マラソン	大分	7	アジア室内選手権	
				7(日)	70 香川丸亀国際ハーフマラソン	香川	13	アジアクロスカントリー	
	21(日)	99 日本選手権男女20km競歩	兵庫	14(日)	56 唐津10マイル	佐賀			
	27(土)	30 福岡国際クロスカントリー	海の道海浜公園(福岡)	14(日)	44 実業団ハーフマラソン	山口			
	28(日)	16 東京マラソン	東京	21(日)	50 青梅マラソン	東京			
3月	6(日)	71 びわ湖毎日マラソン	滋賀	6(日) ○	19 日本学生ハーフマラソン	東京			
	12(土)~13(日)	16 日本ジュニア室内大阪	大阪城ホール(大阪)				17(木)~20(日)	16 世界室内選手権	ボートランド(アメリカ)
	13(日)	16 名古屋ウィメンズマラソン	愛知				20(日)	16 アジア陸上競技選手権・20km競歩	能美(石川)
	20(日)	40 全日本競歩能美	石川	20(日) ○	10 日本学生20km競歩	石川			
							26(土)	22 世界ハーフマラソン選手権	カーディフ(イギリス)

★=後援競技会、○=協力団体主要競技会

# 強化関連情報

強化委員会

## 第2回日中韓3カ国交流陸上競技大会報告

日本選手団監督 原田康弘 (理事・強化委員長)

はじめに

第2回日中韓3カ国交流陸上競技大会が、札幌・厚別陸上競技場で7月12日に開催された。この大会は、東アジアでの陸上競技の中心である日本、中国、韓国がお互いの競技レベル向上と選手間の交流、また、3か国の連盟同士の横のつながりをより強固にする為にも、非常に価値のある大会である。今回は、日本開催で第28回南部忠平記念陸上競技大会と同時開催され、大会の盛り上がりにも貢献できた。日本選手団も日本選手権の成績から選考し、男子7種目に17名、女子7種目に14名が参加した。自国開催でもあり、選手集合も前々日または、前日と各自のトレーニング状況に応じた日程で集合し、前日に全体ミーティングを行い、大会に備えた。また、今後の大会開催などについて、三カ国の連盟幹部ミーティングが行われ、充実した話し合いが行われた。来年開催の韓国の金泉市からのプレゼンテーションもあり、この大会をより素晴らしいものにして行くことで確認できた。日本陸連からは横川浩会長、尾懸貢専務理事、風間明事務局長、大嶋康弘事業部長、北海道から陸協会長、北海道新聞社などが出席した。

### 競技会

今回の大会は、南部忠平記念陸上競技大会と同時開催で、時間的にも午後からの開催で行われた。男子7種目、女子7種目と限られた種目での大会だけに、南部忠平記念陸上競技大会の種目と連動して、競技会として短時間で実施できた。各国2名でのトラック種目は一発勝負であり、フィールドは6回試技で行われた。互いの交流を一つの目的とした大会ではあるが、対抗戦としての得点争いで、男子優勝、女子優勝、総合優勝が決まり、各国とも記録と共に順位争いの必死さも見て取れた。得点は1位10点、2位8点、3位7点、4位6点、5位5点、6位4点で行われた。日本選手の結果として、大会のスタート種目で男子4×400mRが行われ、日本チームは世界陸上競技選手権大会出場の記録更新を狙ったが、記録的には更新できなかったが3分04秒85で優勝。男子200mもグランド条件が良く、原翔太選手(スズキ浜松AC)が20秒50のリオデジャネイロオリンピック参加標準記録に達して優勝したが、風が+2.1で非常に残念であった。高平慎士選手(富士通)も20秒82で3位入り、日本の200mのレベルが非常に高いことを印象付けた。男子

400mHも日本にとって負けられない種目でもある。6月に行われた第21回アジア陸上競技選手権大会(武漢)においても小西勇太選手(住友電工)が優勝しているだけに、今回は岸本鷹幸選手(富士通)、松下祐樹選手(チームミズノアスレティック)とも世界陸上競技選手権大会(北京)参加標準記録突破の期待がかかっ

表1 第2回日中韓3カ国交流陸上競技大会 日本代表選手団 役員(10名)

No.	役職	氏名	所属
1	監督	原田 康弘	日本陸連 強化委員会 委員長
2	コーチ(男子短距離)	苅部 俊二	日本陸連 強化委員会 男子短距離部 部長
3	コーチ(女子短距離)	瀧谷 賢司	日本陸連 強化委員会 女子短距離部 部長
4	コーチ(ハードル)	千葉 佳裕	日本陸連 強化委員会 ハードル部 委員
5	コーチ(跳躍)	吉田 孝久	日本陸連 強化委員会 跳躍部 部長
6	コーチ(跳躍)	小林 史明	日本陸連 強化委員会 跳躍部 委員
7	コーチ(投てき)	等々力信弘	日本陸連 強化委員会 投擲部 部長
8	トレーナー	村上 博之	日本陸連 医事委員会 トレーナー部 委員
9	トレーナー	田村佑実保	日本陸連 医事委員会 トレーナー部 部員
10	渉外	平野 了	日本陸連 事務局 事業部

選手

男子(17名)

No.	出場種目	氏名	所属
1	200m	原 翔太	スズキ浜松AC
2	200m	高平 慎士	富士通
3	800m	田中 匠瑛	盛岡市役所
4	800m	田中 言	早稲田大学
5	400mH	松下 祐樹	チームミズノアスレティック
6	400mH	岸本 鷹幸	富士通
7	走高跳	山下 義弘	東洋大学
8	走高跳	大田 和宏	金沢星稜大学
9	三段跳	石川 和義	長野吉田AC
10	三段跳	山本 凌雅	順天堂大学
11	砲丸投	畑瀬 聡	群馬総合ガードシステム
12	砲丸投	中村 太地	国士舘クラブ
13	4×400mR	金丸 祐三	大塚製菓
14	4×400mR	田村 朋也	住友電工
15	4×400mR	堀井 浩介	城西大学
16	4×400mR	小林 直己	東海大学
17	4×400mR	木村 和史	四電工

女子(14名)

No.	出場種目	氏名	所属
1	100m	宮澤 有紀	富山大学
2	100m	世古 和	CRANE
3	400m	青木沙弥佳	東邦銀行
4	400m	藤沢沙也加	セレスポ
5	100mH	紫村 仁美	佐賀陸協
6	100mH	田中 杏梨	甲南大学
7	棒高跳	竜田 夏苗	モンテローザ
8	棒高跳	仲田 愛	水戸信用金庫
9	走幅跳	岡山沙英子	広島JrOC
10	走幅跳	平加有梨奈	北海道ハイテクAC
11	砲丸投	太田 亜矢	福岡大学
12	砲丸投	松田 昌己	国士舘大学
13	4×100mR	中村 水月	大阪成蹊大学
14	4×100mR	北風 紗織	北海道ハイテクAC

たレースでもあった。前半向かい風でのレースで、岸本鷹幸選手が50秒06で優勝、松下祐樹選手が50秒11で2位に入ったが、記録を出したいという思いは達成できなかった。今後も世界陸上競技選手権大会(北京)参加標準記録突破のチャンスがあるので是非突破してほしい。男子800mは、前半遅いペースであったが、ラスト100mで田中匠瑛選手(盛岡市役所)がスパートし優勝した。男子トラック種目4種目で優勝したことは、チームとして非常に良かった。フィールド種目は、中国が3種目優勝し、韓国と共に活躍が目立った。特に、南部忠平先生の記念大会でもある南部忠平記念陸上競技大会との兼ね合いで、男子三段跳には、中国、韓国、日本ともベストメンバーで臨み、特に今年の第17回アジア競技大会の1位から3位の選手が出場し、レベル的に高い競技が繰り広げられた。特に、第21回アジア陸上競技選手権大会(武漢)で優勝した韓国のKIM選手が17m07

を跳ぶと、第17回アジア競技大会で優勝した中国のDONG選手が17m21の記録で逆転するなどハイレベルな戦いで、南部忠平記念陸上競技大会にふさわしい戦いであった。日本選手は石川和義選手(長野吉田AC)が16m22で4位であった。また、男子砲丸投で2位に入った韓国のJUNG選手が19m49の韓国記録を樹立し、韓国選手団も大喜びであった。

女子では、全7種目全部を中国選手が制覇し、圧倒的な強さを見せつけた形になった。その中、日本チームで活躍した選手は、100mHの紫村仁美選手(佐賀陸協)が追風2.5ではあったが、13秒13で2位に入り、13秒10で優勝した中国のKANG選手と大接戦でのゴールであった。また、女子100mでも宮澤有紀選手(富山大学)が11秒56のPBで走り、女子4×100mRのメン

バーに活力を与えた。その4×100mRでは、日本チームとして世界選手権出場条件の記録突破をかけてのチャンスであっただけにベストメンバーで組めなかったことが非常に残念であった。それにもかかわらず、中国は現状のベストメンバーで臨んでくれたことに感謝したいと思う。記録も43秒09の素晴らしい記録で走り、日本チームとしても目標とする記録でもある。国別対抗戦では、昨年、中国に全制覇されたが、今回は、男子総合で日本、女子総合で中国がそれぞれ優勝し、男女総合で中国、2位日本、3位韓国の結果であった。

最後に天候にも恵まれた最高のグランドコンディションでの競技会で種目によって好記録がでた内容ある素晴らしい大会であった。3カ国の選手・コーチとの交流も行われ、大会終了後のフェアウェルパーティが札幌大通のテレビ塔で中華人民共和国札幌総領事

表2 第2回日中韓3カ国交流陸上競技大会 リザルト

Meeting		2015 Japan-China-Korea FRIENDSHIP ATHLETICS MEETING			
Sponsor		Hokkaido Athletics Association, Hokkaido Sports Association, The Hokkaido Shinbun Press			
	DATE	EVENTS	1st	2nd	3rd
Men	7/12	200m	HARA SHOTA 原 翔太 w20.50(+2.1) JAPAN	MO YOUXUE 莫 有雪 w20.76(+2.1) CHINA	TKAKAHIRA SHINJI 高平 慎士 w20.82(+2.1) JAPAN
	7/12	800m	TANAKA SHOEI 田中 匠瑛 1:54.75 JAPAN	LEE MOOYONG 李 武勇 1:55.08 KOREA	GAO DONGXU 高 冬旭 1:55.24 CHINA
	7/12	400mH	KISHIMOTO TAKAYUKI 岸本 鷹幸 50.06 JAPAN	YUKI MATSUSHITA 松下 祐樹 50.11 JAPAN	SHENG WEN 程 文 50.43 CHINA
	7/12	4×400mR	JAPAN 3:04.85 田村 朋也 金丸 祐三 小林 直己 堀井 浩介	CHINA 3:13.74 程 文 朱 晨斌 高 冬旭 郭 钟泽	KOREA 3:15.54 金 賢浩 李 武勇 朱 尚珉 李 相珉
	7/12	High Jump	YU SHUO 虞 石锁 2.24 CHINA	GUO JINQI 郭 劲岐 2.18 CHINA	OTA KAZUHIRO 大田 和宏 2.18 JAPAN
	7/12	Triple Jump	DONG BIN 董 斌 w17.21(+2.8) CHINA	KIM DEOKHYOEN 金 德現 w17.07(+2.5) KOREA	CAO SHUO 曹 硕 w16.98(+3.0) CHINA
	7/12	Shot Put	TIAN ZIZHONG 田 子重 19.61 CHINA	JUNG ILWOO 鄭 一雨 19.49 KOREA	LU YANG 刘 洋 19.00 CHINA
Women	7/12	100m	WEI YONGLI 韋 永麗 11.32(+1.8) CHINA	YUAN QIQI 袁 琦琦 11.52(+1.8) CHINA	MIYAZAWA YUKI 宮澤 有紀 11.56(+1.8) JAPAN
	7/12	400m	CHEN JINGWEN 陈 静文 55.41 CHINA	JO EUNJU 趙 恩侏 56.01 KOREA	AOKI SAYAKA 青木 沙弥佳 56.25 JAPAN
	7/12	100mH	KANG YA 康 亚 w13.10(+2.5) CHINA	SHIMURA HITOMI 紫村 仁美 w13.13(+2.5) JAPAN	TANAKA ANRI 田中 杏梨 w13.23(+2.5) JAPAN
	7/12	4×100mR	CHINA 43.09 陶 宇佳 孔 令微 袁 琦琦 韋 永麗	JAPAN 45.08 宮澤 有紀 中村 水月 世古 和 北風 紗織	KOREA 46.23 李 先愛 金 하 吳 壽烟 李 叡珍
	7/12	Pole Vault	REN MENGQIAN 任 梦茜 4.25 CHINA	LIM EUNJI 林 恩知 4.20 KOREA	NAKADA MEGUMI 仲田 愛 4.10 JAPAN
	7/12	Long Jump	LU MINJIA 陆 敏佳 w6.54(+2.3) CHINA	ZHOU XIAOXUE 周 小雪 w6.46(+2.6) CHINA	OKAYAMA SAEKO 岡山 沙英子 w6.27(+2.3) JAPAN
	7/12	Shot Put	BIAN KA 卞 卡 17.77 CHINA	LIU XIANGRONG 刘 相蓉 15.92 CHINA	OTA AYA 太田 亜矢 15.53 JAPAN

w(wind assist)

館、駐札幌大韓民国総領事館を迎えて開催された。和やかな雰囲気、多くの方々や選手、コーチの交流が行われ、さらに親睦が深まった。来年の韓国金泉市で

の開催が楽しみでもある。また、短期間での日本代表選手団でありましたが、各コーチの方々に、ご尽力いただき感謝致します。ありがとうございました。



第2回日中韓3カ国交流陸上競技大会

Date	7/12/2015			Referee	万年・赤松・堤
Venue	Atubetsu Park Stadium, Sapporo, JAPAN			Recorder	薄 昇
Area Association	Hokkaido Athletics Association				
	4th	5th	6th	7th	8th
	PAN XINYUE 潘 欣玥 w21.08(+2.1) CHINA	LEE DOOHOH 李 杜澔 w21.26(+2.1) KOREA	YOO MINWOO 柳 民宇 w21.37(+2.1) KOREA		
	TANAKA GEN 田中 言 1:55.70 JAPAN	LEE SANGMIN 李 相珉 1:59.07 KOREA			
	KIM DAEHONG 金 待洪 51.57 KOREA	CHEN KE 陈 柯 53.60 CHINA	JU SANGMIN 朱 尙珉 54.23 KOREA		
	RITUMEIKAN KEISHOU HS 立命館慶祥高校 3:14.80 伊深 愛生 富山 大夢 OPEN 井上 悠也 佐々木 澁平	SAPPORO UNIV 札幌大学 3:17.86 小堀 凌 菅 英登 OPEN 越前谷 貴彦 江端 郁弥	HOKKAI HS 北海高校 3:25.56 山辺 巧志 佐々木 優弥 OPEN 福田 健太 尾崎 光		
	PARK SANGWON 朴 商元 2.15 KOREA	KIM SUNGDAE 金 成大 2.15 KOREA	YAMASHITA YOSIHIRO 山下 義弘 2.10 JAPAN		
	ISHIKAWA KAZUYOSHI 石川 和義 16.22(+1.6) JAPAN	RYOMA YAMAMOTO 山本 凌雅 16.03(+2.0) JAPAN	SUNG JINSUCK 成 進碩 15.81(+0.9) KOREA		
	HATASE SATORU 畑瀬 聡 17.81 JAPAN	KIM HYUNBAE 金 鉉培 17.25 KOREA	NAKAMURA DAICHI 中村 太地 16.88 JAPAN		
	SEKO NODOKA 世古 和 11.70(+1.8) JAPAN	OU SOOKYUNG 吳 壽綱 12.00(+1.8) KOREA	LEE YEJIN 李 叡珍 12.20(+1.8) KOREA	KITAKAZE SAORI 北風 沙織 11.60(+1.8) OPEN	NAKAMURA MIZUKI 中村 水月 11.79(+1.8) OPEN
	OH SERA 吳 世邈 56.61 KOREA	AOYAMA SEIKA 青山 聖佳 55.70 OPEN			
	JUNG HYELIM 鄭 惠琳 w13.25(+2.5) KOREA	SONG YUJIN 宋 柔桑 w14.33(+2.5) KOREA	KIMURA AYAKO 木村文子 w13.20(+2.5) OPEN		
	RITUMEIKAN KEISHOU HS 立命館慶祥高 46.78 林 理紗 清野 ひかり 高橋 知恵莉 葛綿 みなみ	ENIWA KITA HS 恵庭北高 47.73 伊藤 月子 床 杏莉 OPEN 井越 朱梨 村岡 悠有	HOKKAI HS 北海高校 49.03 貞池 菜々子 荒木 華苗 OPEN 小野寺 唯 野呂 真愛	SAPPORO OHTANI HS 札幌大谷高 49.12 小美浪 茜 田村 ゆりあ OPEN 能勢 桃佳 糸谷 梨瑚	
	LI CHAOQUN 李 超群 4.10 CHINA	JO MINJI 趙 敏地 3.20 KOREA			
	HIRAKA YURINA 平加 有梨奈 6.13(+1.9) JAPAN	KIM MINJI 金 旼智 w6.03(+2.2) KOREA	LEE HUIJIN 李 熙眞 5.92(+1.6) KOREA	NAGAI KAORI 永井 佳織 5.96(+0.4) OPEN	
	LEE MINA 李 美娜 14.96 KOREA	MATUSUDA SHOKO 松田 昌己 14.08 JAPAN	JEONG YUSUN 鄭 有善 13.75 KOREA		

# IAAF競歩チャレンジ ラコルーニャ大会報告

強化委員会競歩部長 今村 文男

1. 期日 2015年6月6日(土)  
派遣期間: 2015年5月31日(月)～6月8日(月)  
2. 場所 スペイン ガリシア州ラコルーニャ

## 3. 選手団

役員: 今村文男(日本陸上競技連盟 強化委員会 競歩部長)、清水茂幸(日本陸上競技連盟 強化委員会 競歩部幹事)、谷内雄亮(日本陸上競技連盟 強化委員会 強化委員)、ジョルディ・リヨバルト氏(日本陸上競技連盟競歩部 テクニカルアドバイザー)  
選手: 西塔拓己(愛知製鋼)、高橋英輝(富士通)、藤澤 勇(ALSOK)、荒井広宙(自衛隊体育学校)、丸尾知司(和歌山県教育庁)、吉田琢哉(盛岡市役所)、小林快(ビックカメラ)、岡田久美子(ビックカメラ)

## 4. 成績

6月6日(土) PM 6:50～男子20km競歩

天候: 晴れ スタート時 気温21.5度 湿度52.0%、  
フィニッシュ時 気温19.4度 湿度64.7%

参加国 男子 22カ国

参加人数 男子 78名 内DQ 8名

競技結果 男子

順位	氏名	国名	記録	備考(警告/達成率)
1	WANG ZHEN	China	1:18:00	～～
2	CHEN DING	China	1:18:44	
3	CAI ZELIN	China	1:19:45	～
6	高橋 英輝	富士通	1:20:08	97.4%
9	西塔 拓己	愛知製鋼	1:21:15	98.6%
21	藤澤 勇	ALSOK	1:22:49	95.6%
22	荒井 広宙	自衛隊体育学校	1:22:49	97.3%
24	丸尾 知司	和歌山県教育庁	1:23:04	95.9%
52	吉田 琢哉	盛岡市役所	1:28:58	90.8%
DQ	小林 快	ビックカメラ	---	～～～

6月6日(土) PM 6:30～女子20km競歩

天候: 晴れ スタート時 気温21.7度 湿度51.5%、  
フィニッシュ時 気温20.4度 湿度63.1%

参加国 女子 12カ国

参加人数 女子 32名 内DNF 6名

競技結果 女子

順位	氏名	国名	記録	備考(達成率)
1	LIU HONG	China	1:24:38	WR～
2	QIEYANG SHENJIE	China	1:27:44	SB
3	ERICA DE SENA	Brazil	1:29:50	
4	ANA CABECINHA	Portugal	1:30:19	
5	VALENTINA TRAPLETTI	Italy	1:35:37	
6	MARIA JOSE POVES	Spain	1:31:19	
13	岡田久美子	ビックカメラ	1:35:43	93.8%

## 5. 現地でのトレーニング、コンディショニングについて

現地でのトレーニングは、宿泊先のホテル周辺にサイクリングロードがあり、フリーウォークやポイント練習などを行うことができた。個別の練習サポートについても事前に内容を確認し、スタッフ間で共有し各選手順調にこなせたものと考えられる。今回もトレーナーの帯同があり、日々のコンディションサポートにおいても十分なケアが行っていたと感じている。また、大会期間中の天候は全般的に晴れることが多く、気温23度前後で湿度も50%前後低く過ごし易かったといえる。

## 6. 個別目標、自己評価

### (1) 個別目標

高橋英輝: 国際経験と有力選手との駆け引きやペース変化における歩型の対応

西塔拓己: 自分のペースで歩き切り、記録は1時間21分台

藤澤 勇: 6位以内入賞と1時間22分以内

荒井広宙: 国際競歩審判IAAFレベルへの適応

丸尾知司: 先頭集団におけるペース変化の対応力を試す

吉田琢哉: 世界基準の歩きと国際競歩審判IAAFレベルへの適応  
小林 快: 国際競歩審判IAAFレベルへの適応と6位以内入賞  
岡田久美子: 8位以内入賞と先頭集団でレースをする

### (2) 自己評価

高橋英輝: 今大会においては、中国選手に遅れをとったが、これから世界選手権に向けて練習を積み、先頭集団でレースをしながら8位入賞を果たしたい。

西塔拓己: 最低限の目標はクリアできたが、ラスト5kmで失速してしまった。持久力不足が露呈した結果と受け止めている。

藤澤 勇: 想定以上のレース展開だったため、位置取りに戸惑った。記録的には、想定範囲であったが、中盤以降のペースダウンには課題が残った。

荒井広宙: 準備状況から想定範囲の記録であったが、レース後半はストライドが短くなり、腕振りなどを抱えるなど動きの修正が必要である。

丸尾知司: 前半10kmはリラックスして歩けたが、ハイペースの影響なのか後半は、思った以上にペースダウンが大きかった。練習内容や時差調整、食事面なども含め今後は見直していきたい。

吉田琢哉: 注意や警告はなかったが、力みや動きの連動性がない状況だったため、3km以降は、全くペースが上がらなかった。そのため順位、記録も想定外の結果となった。

小林 快: 想定通りのレース展開でペース変化にも対応できていたと思ったが、10km過ぎに失格をした。課題であった調整はうまくいったが、今一度、フォームを見直す必要があると痛感した。

岡田久美子: 初のヨーロッパでの20kmレースであったが、海外でベストパフォーマンスをする難しさを痛感した。時差調整や食事面、練習内容など、すべてに微調整していく必要がある。

## 7. 総評

今大会に出場する選手は、2月から4月にかけて国内で行われた世界選手権代表選考会を経て、大会に臨むため個々人の目標を明確にし、個々の目標を達成することを主目的として出場した。また、世界選手権前に行われる最後のIAAF競歩チャレンジということもあり、各国の有力選手が多数出場していた。例年に比べ、気象条件が良かったわけではないが、中国勢は男女ともに記録を意識したレース展開とペース設定であった。結果的に、女子種目において、LIU HONG選手(中国)が世界新記録をマークし、男子種目においても1時間20分を切る好記録で中国勢が上位を独占した。特に圧巻だったのは、女子競歩で世界記録を更新したLIU選手の力強い歩きである。最初の5kmこそ21分27秒であったが、そこから徐々にペースアップし5km毎のラップでは、21:27-42:39(21:12)-1:03:41(21:02)-1:24:38(20:57)であり、最後の1kmは4分5秒でフィニッシュした。序盤こそ動きが粗かったが、中盤以降は、完成度の高い歩型で最後まで歩き切った。一方、男子も序盤から中国勢がレースメイクし、ロンドン五輪メダリスト2名が中心となり先頭集団を形成し、4kmからペースアップしたWANG ZHEN選手(中国)が終始安定したペースでレースを進め1時間18分00秒の好記録で優勝した。しかし、動きは粗く、前回の世界陸上競技選手権大会モスクワ大会で失格したときと同様に上下動が大きくロス オブ コンタクトの警告を2つ受けている現状であった。

日本勢では、男子7名、女子1名計8名が出場し、そのうち、今夏の世界陸上競技選手権北京大会代表が4名であった。世界陸上競技選手権大会代表では高橋英輝選手が、積極的なレース展開で終始、3位争いをしてきたが度重なるペースの変動やポジショニングに気を遣い、ラスト5kmから遅れだし、遂にはゴール直前で2人に抜かれ6位でフィニッシュした。藤澤勇選手、荒井広宙選手は、練習の進捗状況などを踏まえ個別目標で掲げた記録やIAAFレベルの歩型適応を意識して出場したため、順位は付いてこなかったが目標記録を達成し、注意・警告もなかったことなどから順調に強化が進んでいると感じた。岡田久美子選手について、序盤から積極的に第2集団にいたものの、その集団の中でのポジショニングにおいて他者との接触が頻繁にあり、その影響で左肩を打撲し、レース後半は、その影響による痛みで腕が振れず徐々にペースダウンした。不慣れた集団でのポジショニングは、転倒や歩型の乱れにも繋がったため今後は、レース展開を考えながら位置取りをしていくことが望ましいと言える。いずれにせよ今大会の経験が世界陸上競技選手権大会の成果に繋がるよう期待したい。

# 第15回世界陸上選手権大会(2015 / 北京)

## トラック&フィールド日本代表

2015.6.29、2015.7.14発表分

8月22日から30日まで中国・北京で開催される第15回世界陸上競技選手権大会。7月号に引き続き、本号では、トラック&フィールドの日本代表選手を紹介します。

①大会に向けての抱負②競技のココ・私のこんな姿に注目!③将来を夢見て練習に励む中高生に向けてのメッセージ

④ゲンを担いで大会前日の夕食に食べるもの⑤座右の銘(信条)/好きな言葉

### ●男子



**高瀬 慧** (タカセ ケイ)  
過去出場年: 初出場 (100m)、13/11 (200m)  
所属: 富士通 登録陸協: 千葉  
生年月日: 1988/11/25 身長/体重: 179 / 67  
資格種目: 100m/200m 資格記録: 10.09 / 20.14  
出身: 静岡市立長田南中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 本間先生) → 静岡西高校 (所属部: 陸上部/指導者: 石代晃司) → 順天堂大学 (所属部: 陸上部/指導者: 佐久間和彦)

- ①今回の世界陸上は勝負をしにくい大会で、今までの世界大会とは違うと思っています。そんな中でも落ち着いた余裕のある気持ちを持って臨んでいけたら良いなあと思います。まずは、セミアイナルにしっかりと進出すること、セミアイナルで自己ベストを更新する走りでのファイナルを狙ってみたいのです。  
②気持ちを全面に出していく走りをするので注目して下さい。  
③中学、高校と結果がでなかった僕でも、世界の舞台で戦えるところを見てほしいです。  
④特になし ⑤特になし



**藤光 謙司** (フジミツ ケンジ)  
過去出場年: 09 所属: ゼンリン 登録陸協: 神奈川  
生年月日: 1986/05/01 身長/体重: 182 / 70  
資格種目: 200m 資格記録: 20.32  
出身: さいたま市立三室中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 降幡厚博) → 市立浦和高校 (所属部: 陸上部/指導者: 高澤正夫) → 日本大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 安井年文)

- ①久しぶりの個人での出場ですし、ようやく戦える力をつけられてきたので、ファイナル進出を目指して納得のいくパフォーマンスができればと思っています。  
②コーナーから直線に入っていくところが勝負の決まりどころでもあり、一番スピード感を感じられるポイントだと思うので注目してもらいたいです。  
③自分が頑張ろうと思うためには目標が必要だと思うので、まずは世界のトップアスリートのパフォーマンスを見て刺激をもって日々の練習の活力にしてもらいたいです。  
④お米を食べます ⑤継続は力なり



**金丸 祐三** (カネマル コウゾウ)  
過去出場年: 13/11/09 - 07/05  
所属: 大塚製薬 登録陸協: 徳島  
生年月日: 1987/09/18 身長/体重: 177 / 75  
資格種目: 400m 資格記録: 45.22  
出身: 高槻市立芝谷中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 竹口恵子) → 私立大阪高校 (所属部: 陸上部/指導者: 岡本博、小塚湖) → 法政大学 (所属部: 陸上部/指導者: 苅部俊二)

- ①決勝進出、自己ベスト更新  
②かっこいいサングラス  
③勝っても負けても全力を出し切り、自身の可能性を追求する事が大事。  
④できるだけおいしいのを食べたい ⑤運命は勇者に微笑む



**大瀬戸 一馬** (オオセト カズマ)  
過去出場年: 初出場  
所属: 法政大学 登録陸協: 福岡  
生年月日: 1994/08/05 身長/体重: 179 / 70  
資格種目: 100m 資格記録: 10.32  
出身: 荏田町立新津中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 大山広一) → 小倉東高校 (所属部: 陸上部/指導者: 小野原英樹) → 法政大学 (所属部: 陸上部/指導者: 苅部俊二)

- ①まずはメンバー入りを目指し、一足として世界と勝負したい。チームに少しでも貢献したい。  
②スタートとバトン技術。

- ③日本のバトン技術は世界でもトップクラス。そのバトンで世界と勝負するところに注目してほしい!  
④トマト ⑤常に笑顔!



**谷口 耕太郎** (タニグチ コウタロウ)  
過去出場年: 初出場  
所属: 中央大学 登録陸協: 神奈川  
生年月日: 1994/11/03 身長/体重: 184 / 76  
資格種目: 200m 資格記録: 20.69  
出身: 綾瀬市立北の台中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 大場先生、池田先生) → 弥栄高校 (所属部: 陸上部/指導者: 田原先生、伊藤コーチ) → 中央大学 (所属部: 陸上部/指導者: 星野監督、豊田コーチ)

- ①世界陸上と言う素晴らしい舞台に選出して頂き、とても感謝しています。4×100mリレーでは、必ずメダルを取ります。もう一度メダルを胸に掛けて日本に帰国します。  
②私は、後半スピードの伸びに自信があります。4×100mリレーは、バトンパスの精度とチームワークによって構成されています。是非バトンパスに注目して下さい。  
③今、自分が出ている能力を信じて練習に励んで下さい。そうすれば、必ず道が開けます。  
④甘いものを食べます。そのかわり、大会の前以外、甘いものは控えています。  
⑤自分全力



**村山 紘太** (ムラヤマ コウヤ)  
過去出場年: 初出場  
所属: 旭化成 登録陸協: 宮崎  
生年月日: 1993/02/23 身長/体重: 174 / 53  
資格種目: 5000m 資格記録: 13.19.62  
出身: 仙台市立八軒中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 小松貴宏、村上みどり) → 明成高校 (所属部: 陸上部/指導者: 中村登) → 城西大学 (所属部: 男子駅伝部/指導者: 柳部幹二)

- ①決勝進出  
②ラストスパート争い  
③やらされる練習をするのではなく、自分から考えてやる練習  
④特になし ⑤夢は叶う



**鐵坂 哲哉** (ヒロイザカ テツヤ)  
過去出場年: 初出場 所属: 旭化成 登録陸協: 宮崎  
生年月日: 1990/03/20 身長/体重: 166 / 53  
資格種目: 10000m 資格記録: 27.38.99  
出身: 広島市立五日市中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 森川美城) → 世羅高校 (所属部: 陸上部/指導者: 岩本真弥) → 明治大学 (所属部: 陸上部/指導者: 西弘美)

- ①初の世界陸上なので臆することなく積極的な走りをして、世界の舞台で勝負したいと思います。  
②トラック競技の最長レースになります。中盤に粘れるようになってきているので、中盤を頑張りたいと思います。  
③レース中盤の粘り  
④夕食後に甘いものを食べます。 ⑤継続は力なり



**設楽 悠太** (シタラ ユウタ)  
過去出場年: 初出場 所属: Honda 登録陸協: 埼玉  
生年月日: 1991/12/18 身長/体重: 170 / 48  
資格種目: 10000m 資格記録: 27.42.71  
出身: 寄居町立男衾中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 川倉順子) → 武蔵越生高校 (所属部: 陸上部/指導者: 北村亮祐) → 東洋大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 酒井俊幸)

- ①世界陸上では攻めの走りをして上位目指して頑張ります。

- ②序盤から激しい位置取りや、終盤にかけて徐々にペースアップして残り1周のラストスパートが1000mの魅力です。
- ③積極的に先頭集団についていき、中高生に元気を与えられるような走りをする。
- ④特になし ⑤夢は叶う



**村山 謙太** (ムラヤマ ケンタ)

過去出場年：初出場 所属：旭化成 登録陸協：宮崎  
 生年月日：1993/02/23 身長/体重：176 / 55  
 資格種目：1000m 資格記録：27.39.95  
 出身：仙台市立八軒中学校 (所属部：陸上部/指導者：小松貴宏、村上みどり) → 明成高校 (所属部：陸上部/指導者：中村登) → 駒澤大学 (所属部：陸上部/指導者：大八木弘明)  
 ①身上の積極的なレースをする。

- ②レース序盤に顔に余裕があるか見てほしい。前で勝負する。
- ③勝負できると思ったら、とことん前で攻める。
- ④油ものは食べない。
- ⑤後ろを向くな、前を見ろ!



**小西 勇太** (コニシ ユウタ)

過去出場年：初出場 所属：住友電工 登録陸協：兵庫  
 生年月日：1990/07/31 身長/体重：182 / 72  
 資格種目：400mH 資格記録：49.58  
 出身：創価学園関西創価中学校 (所属部：陸上部/指導者：浅田先生) → 関西創価高校 (所属部：陸上部/指導者：萩岡栄二) → 立命館大学 (所属部：陸上部/指導者：浅見公博)  
 ①勝ちにこだわり、自分もてるすべての力を出し切りたいと思っています。目標は決勝進出。チャンスはあると思うので最後まで諦めずに頑張ります。

- ②400mHの魅力のひとつはハードル区間に起こる歩数の変化です。少しでも歩幅を間違えると、減速に繋がります。歩数を完璧に合わせる調整力を武器に、安定した走りを目指します。
- ③最後の直線に向けた加速が勝負を決めるので200m~300mの中盤区間の追い上げに注目してほしい!
- ④納豆パスタ
- ⑤強敵を伏して始めて力士をしる



**戸邊 直人** (トベ ナオト)

過去出場年：初出場  
 所属：つくばツインビクス 登録陸協：茨城  
 生年月日：1992/03/31 身長/体重：194 / 74  
 資格種目：走高跳 資格記録：2m29  
 出身：野田市立第二中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：岡田洋子) → 専修大学松戸高校 (所属部：陸上競技部/指導者：瀬川勇、林英昭) → 筑波大学 (所属部：陸上競技部/指導者：関子浩二)

- ①今回、世界陸上は初めての出場になります。ずっと夢見ていた憧れの舞台で戦えることが楽しみでなりません。まずは決勝進出を目標に、その先は全力を出し切ってどこまで行けるか、自分を試す大会にしたいと考えています。応援よろしくをお願いします。
- ②自分の身体ひとつでどれだけ高いバーを越えていけるかを競う走高跳には、他のどの種目にもない迫力や美しさがあります。
- ③走高跳では世界記録が期待されていますが、今大会、日本記録も期待してください!
- ④大会前日に特別なことはしません。
- ⑤No pain, No gain



**籾藤 昂** (エトウ タカシ)

過去出場年：初出場 所属：AGF 登録陸協：三重  
 生年月日：1991/02/05 身長/体重：183 / 67  
 資格種目：走高跳 資格記録：2m28  
 出身：鈴鹿市立白子中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：山口秀人、谷映親) → 鈴鹿工業高等専門学校 (所属部：陸上競技部/指導者：船越一彦) → 筑波大学大学院 (所属部：陸上競技部)

- ①夢であった世界陸上に出席することになり、とても嬉しく思います。世界陸上の中でも、世界のトップが本気を出すのは決勝からです。その舞台に立てるよう全力で予選通過を狙います。
- ②バーが可残るか落ちるか結果が一瞬瞭然。観客の視線を一点に集めることができる。自身の持ち味は、助走から踏切にかけるスムーズな流れ。
- ③複数名が決勝に残り「日本人が世界で戦える種目」という「夢」が持てる種目にしたい。
- ④できれば和食 (試合当日にカステラ)
- ⑤実るほど頭を垂れる稲穂かな



**平松 祐司** (ヒラマツ ユウジ)

過去出場年：初出場 所属：筑波大学 登録陸協：京都  
 生年月日：1997/01/11 身長/体重：184 / 64  
 資格種目：走高跳 資格記録：2m28  
 出身：八幡市立男山東中学校 (所属部：サッカー部/指導者：酒本幹也) → 西城陽高校 (所属部：陸上部/指導者：金見紀宣) → 筑波大学 (所属部：陸上部/指導者：関子浩二)

- ①今年の目標であった世界陸上なので、出場して終わるのではなく、若い力で決勝へ進出し、入賞を目標に頑張りたいと思います。
- ②流れの良い助走から、踏切動作が持ち味で、ピンチになった時の修正力も持ち合わせています。
- ③毎週毎週同じメニューをこなしていると思いますが、飽きてしまっていて雑になることも多いのではないのでしょうか。しかし同じメニューでも、少しやり方を変えるだけで新しい感覚を得ることもできると思います。年齢なんて関係ない。若い力で頑張ろう!
- ④米 ⑤人 憂 勝



**萩田 大樹** (オギタ ヒロキ)

過去出場年：13 所属：ミズノ 登録陸協：香川  
 生年月日：1987/12/30 身長/体重：186 / 80  
 資格種目：棒高跳 資格記録：5m65  
 出身：大野原町立大野原中学校 (所属部：陸上部/指導者：西野和宏) → 観音寺第一高校 (所属部：陸上部/指導者：詫間茂) → 関西学院大学 (所属部：陸上部/指導者：杉本誠)

- ①前回のモスクワ大会では予選落ちという悔しい結果だったので、こんかいはしっかりと予選通過して決勝に進むことをまず考えていこうと思います。
- ②何とんでも普通では考えられないような高さまで一瞬に跳び上がるというダイナミックさが棒高跳の魅力です。僕の持ち味はボールの硬さで、今までの日本選手の中でも1番の硬さのものを使っています。
- ③ここまで来るまでに沢山悔しい思いをしてきました。その悔しさをバネに諦めずに挑戦してきたのが今の記録、結果に結びついていると思います。
- ④特ありませんが、栄養のバランスを考えた中でその時食べたものを食べるようにしています。
- ⑤「一期一会」出会ったすべての人達に「感謝」。



**山本 聖途** (ヤマモト セイト)

過去出場年：13 所属：トヨタ自動車 登録陸協：愛知  
 生年月日：1992/03/11 身長/体重：181 / 70  
 資格種目：棒高跳 資格記録：5m65  
 出身：岡崎市立岩津中学校 (所属部：陸上部/指導者：市川陽明) → 岡崎城西高校 (所属部：陸上部/指導者：若林綱洋) → 中京大学 (所属部：陸上部/指導者：安藤好郎)

- ①世界陸上では自己ベストを更新し、前大会以上の順位を出します。
- ②助走のスピードが時々味なので海外の選手との比較をしていただきたいと思っています。
- ③海外の選手は2m近くある選手がほとんどです。日本人でもここまでやれるんだということを見てください。
- ④大好きのカレーライス ⑤感謝



**菅井 洋平** (スガイ ヨウヘイ)

過去出場年：初出場 所属：ミズノ 登録陸協：群馬  
 生年月日：1985/08/30 身長/体重：180 / 77  
 資格種目：走幅跳 資格記録：8m18  
 出身：足利私立愛宕台中学校 (所属部：陸上部/指導者：宮本歩) → 太田工業高校 (所属部：陸上部/指導者：三芝功一、村田勇) → 順天堂大学 (所属部：陸上部/指導者：越川一紀)

- ①決勝で勝負をしたいです。ようやく掴んだ世界大会のチャンスなので守りに入らずに思い切った跳躍をします。
- ②遠くに跳ぶためには様々な要素があり、その全てが集約された跳躍はとても迫力があります。跳び方にそれぞれの個性が出るので面白いと思います。
- ③技術的な部分は十分世界でも通用すると思います。しかし、技術だけでは勝負することは出来ないで、今年取り組んでいるスピードと技術を合わせた強い跳躍を見てください。
- ④特になし ⑤その日食べたいものの中で身体に良さそうなものを選んで食べます。
- ⑤コツはコツコツ。



**新井 涼平** (アライ リョウヘイ)

過去出場年：初出場  
 所属：スズキ浜松 AC 登録陸協：静岡  
 生年月日：1991/06/23 身長/体重：183 / 93  
 資格種目：やり投 資格記録：86m83  
 出身：長瀬町立長瀬中学校 (所属部：野球部) → 皆野高校 (所属部：陸上部/指導者：福島壮彦) → 国土館大学 (所属部：陸上部/指導者：岡田雅次)

- ①メダル獲得を最大の目標とし、自分の最高のパフォーマンスができるようにしたい。メダル獲得には日本記録を抜けないと不可能なレベルなのでしっかりと日本記録も狙ってきたい。
- ②やりがきれいに飛んでいくところを見ていただきたい。ほかの人の助走スピードの違いなど見てほしい。投げず時、ゴリラみたいと言われるが、野生的というしてほしい。
- ③中学校の頃はなににも秀でるものがなかったが、こんな私でも続けていけば世界と戦えるようになった。誰にでも可能性はあるので全力で頑張りたい。
- ④肉肉とり肉肉とありえず肉が好き、ステーキ、うどん ⑤練習がすべて



**右代 啓祐** (ウシロ ケイスケ)  
過去出場年: 13/11  
所属: スズキ浜松 AC 登録陸協: 静岡  
生年月日: 1986/7/24 身長/体重: 196 / 95  
資格種目: 十種競技 資格記録: 8308  
出身: 江別市立大麻東中学校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 川村龍彦) → 札幌第一高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 大町和敏) → 国士館大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 岡田雅次)

- ①アジアチャンピオンとして、世界の大舞台で8500点。そしてメダル獲得を目指す!
- ②196センチの巨体が走って、跳んで、投げて、叫んで、世界の舞台でも存在感を出していきたいと思ひます。
- ③世界で戦う選手達の、動き、表情、言動に注目してみてください。君たちを成長させてくれるヒントが見つかるかもしれません。
- ④特になし ⑤今日からが君のスタートだ!



**中村 明彦** (ナカムラ アキヒコ)  
過去出場年: 初出場  
所属: スズキ浜松 AC 登録陸協: 静岡  
生年月日: 1990/10/23 身長/体重: 181 / 74  
資格種目: 十種競技 資格記録: 8043  
出身: 岡崎市立六ツ美北中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 山本先生) → 岡崎城西高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 夏目先生) → 中京大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 本田先生)

- ①十種競技での初の世界の舞台、夢への第一歩。海外での8000点、自己ベスト更新を目指して右代さんと頑張ります。
- ②100m~1500mまで走れるスピードと体力。種目ごとに変動する順位と、外国人選手のダイナミックな動き。1500mゴールするまでわからない順位と記録。
- ③十種すべてが得意な訳ではありません。苦手なことにもひたむきに向き合うことで時間は掛かるかもしれないけれど、きっとよくなるはずです。僕もまだその途中ですが。
- ④試合の前日は軽めのものを食べますが、海外での試合には「ういろう」を持っています。
- ⑤正しい努力の積み重ね。

●女子



**福島 千里** (フクシマ チサト)  
過去出場年: 11/09 (100m)、13/11/09 (200m)  
所属: 北海道ハイテク AC 登録陸協: 北海道  
生年月日: 1988/6/27 身長/体重: 166 / 51  
資格種目: 100m/200m 資格記録: 11.28/23.11  
出身: 幕別町立糠内中学校→帯広南商業高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 辻吉則) → 北海道ハイテクノロジー専門学校

- ①1本でも多く走り、今までの世界選手権の中で一番いい世界選手権にする。
- ②また世界の舞台で持ち味のスタートダッシュを決めたいです。
- ③「私も出来そう」「私もやれそう」と思っています。
- ④消化にいいもの ⑤特になし



**尾西 美咲** (オニシ ミサキ)  
過去出場年: 13 所属: 積水化学 登録陸協: 千葉  
生年月日: 1985/02/24 身長/体重: 164 / 45  
資格種目: 5000m 資格記録: 15.16.82  
出身: 伊勢市立小俣中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 福井清) → 宇治山田商業高校 (所属部: 陸上部/指導者: 山本顕)

- ①積極的なレースを心がけて、まず予選突破を目標にがんばります。
- ②駆け引きや、短距離走のようなラストスパートなどが、見ていておもしろい種目だと思います。

- ③「私もがんばろう!」「私もこういう舞台で走りたいな」と思ってもらえるレースができるようにがんばります。
- ④特になし ⑤特になし



**鈴木 亜由子** (スズキ アユコ)  
過去出場年: 初出場 所属: 日本郵政グループ 登録陸協: 東京  
生年月日: 1991/10/08 身長/体重: 154 / 39  
資格種目: 5000m 資格記録: 15.14.96  
出身: 豊橋市立豊城中学校 (所属部: バスケットボール部/指導者: 杉浦秀典) → 時習館高校 (所属部: 陸上部/指導者: 佐藤悦子) → 名古屋大学 (所属部: 陸上部/指導者: 金尾洋治)

- ①今後のステップアップに繋がるよう、しっかりと準備してレースに臨み、世界の舞台でどれだけ戦えるのかを試したい。初代表なので、思い切ったレース、納得のいく走りができるように頑張りたい。
- ②競技のココ/スタミナとスピードの両方が必要でレースの駆け引きは見ている面白と思う。私のこんな姿に注目/ピッチ、リズム、バネで走るところ。
- ③中学・高校生の間はあまり無理し過ぎることなく、楽しく競技に取り組んでほしい。
- ④特になしですが、実家が米屋なのでお米は食べます。 ⑤得意淡然失意泰然



**西原 加純** (ニシハラ カスミ)  
過去出場年: 初出場 所属: ヤマダ電機 登録陸協: 群馬  
生年月日: 1989/03/01 身長/体重: 162 / 46  
資格種目: 10000m 資格記録: 31.53.69  
出身: 与謝野町立加悦中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 森下寿子) → 宮津高校 (所属部: 陸上部/指導者: 北野剛毅) → 佛教大学 (所属部: 陸上部/指導者: 森川賢一)

- ①目標は自己ベスト更新と入賞。世界陸上は初出場ですが、世界の舞台でも自分の力をしっかりと出せるように頑張ります。
- ②私の持ち味は粘りとラストスパートなので、どんな展開になっても最後まで出し切ります。10000mは長いですが、最後まで応援よろしく願ひします。
- ③長距離種目 (特にトラック種目) は、日本人は世界に通用しないと思われがちですが、日本人も「頑張れば戦えるんだよ」というところを見てももらえるように頑張るのでここに注目して欲しいです。
- ④特にありません。 ⑤自分らしく、楽しく!



**高島 由香** (タカシマ ユカ)  
過去出場年: 初出場 所属: デンソー 登録陸協: 三重  
生年月日: 1988/05/12 身長/体重: 153 / 40  
資格種目: 10000m 資格記録: 31.37.32  
出身: 防府市立国府中学校→興譲館高校 (所属部: 陸上部/指導者: 森政芳寿)

- ①初めての世界選手権なので思い切ったレースをしたいと思ひます。
- ②前半からの積極的な走り後半きつくなってからの粘りに注意して下さい。
- ③目標に向かって諦めず地道に努力してやれば、必ず目標を達成できる時がくるので、目標を持って頑張ってください。
- ④うな重 ⑤継続は力なり



**海老原 有希** (Ebihara Yuki)  
過去出場年: 13/11/09  
所属: スズキ浜松 AC 登録陸協: 静岡  
生年月日: 1985/10/28 身長/体重: 164 / 68  
資格種目: やり投 資格記録: 63m80  
出身: 上三川町立上三川中学校 (所属部: バスケットボール部/指導者: 増淵忍) → 真岡女子高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 渡辺方夫) → 国士館大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 岡田雅次)

- ①世界陸上では決勝進出、そして入賞を目指します。世界の舞台で60mを超える投擲を披露できるよう頑張ります。
- ②各選手が様々な投擲フォームなので違いを探しながら見てみるのも楽しいと思ひます。助走のスピードを生かしたフォームから投げ放たれたやりの軌道にも注目して見て下さい。
- ③しっかりと目標とそれを達成するという強い気持ちで日々前進していくことが大切だと思います。
- ④こはん ⑤弱気は最大の敵

# 科学委員会活動報告(日本グランプリシリーズ、日本選手権など)

科学委員長 杉田 正明

## 1. はじめに

科学委員会では、各種目担当責任者を配置し、強化委員会と連携し、競技会データのフィードバック、強化合宿におけるサポート活動、JISSを活用した研修合宿での情報提供やデータフィードバックなどを行っている。特に、競技会での撮影およびデータ収集については、競技会主催者および主管陸協から多大なご理解とご協力を得ることができ、大きな問題もなく実施できている状況にある。ここに記して、関係各位に深く感謝申し上げます。

## 2. 競技会におけるパフォーマンスデータの収集

(7月20日現在)

本年度において現在まで、競技会におけるデータの収集、分析およびフィードバックを下記のように実施した。競技会終了後、各種目担当の強化委員と連携して、選手へのフィードバックを行っている。

- 1) 織田記念陸上(広島) 4月18、19日 短距離、跳躍、投擲
- 2) 日本選抜陸上和歌山(和歌山) 4月25、26日 混成競技
- 3) 兵庫リレーカーニバル(神戸) 4月25、26日 跳躍、投擲
- 4) 静岡国際(袋井) 5月3日 短距離、障害、中距離、跳躍
- 5) セイコーゴールデングランプリ川崎 5月10日 短距離、障害、中距離、跳躍、投擲
- 6) 日本選手権(新潟) 6月26、28日 短距離・障害、中距離、跳躍、投擲
- 7) 日本選手権混成(長野) 7月4～5日 全種目

## 3. 競技会におけるパフォーマンスデータの事例紹介

図1と表1は、100mにおける高瀬慧選手(富士通)のこれまでの8大会のパフォーマンスデータを示して

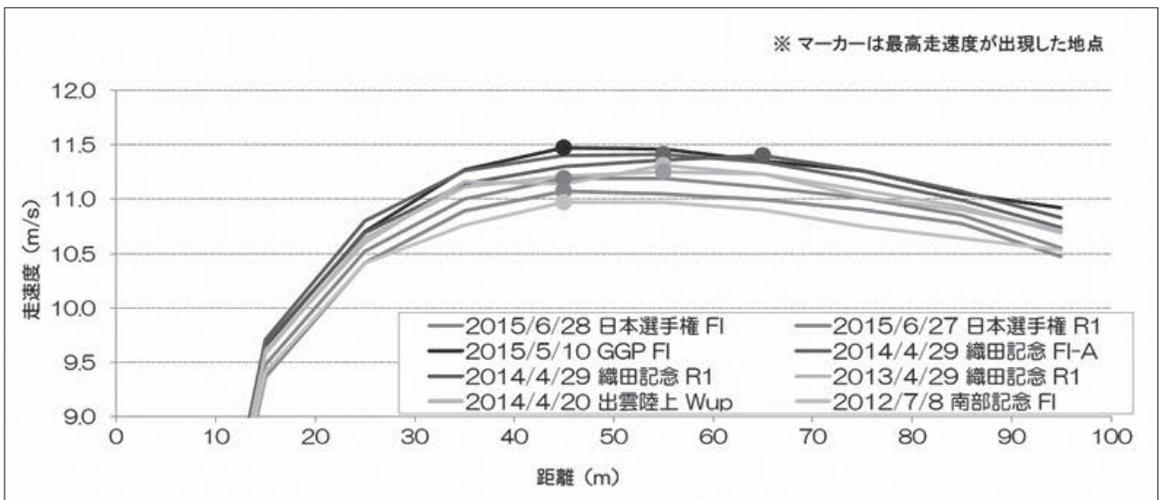


図1 高瀬選手の100mレース中のスピード曲線

表1 高瀬選手の100mレース中のデータ一覧

開催日	大会名	ラウンド	記録	風	最高速度	出現区間	歩数
2015/6/28	日本選手権	FI	10.28	-0.9	11.19m/s	45m	48.0歩
2015/6/27	日本選手権	R1	10.40	-0.7	11.07m/s	45m	—
2015/5/10	GGP川崎	FI	10.09	-0.1	11.47m/s	45m	47.9歩
2014/4/29	織田記念	FI-A	10.13	+0.7	11.41m/s	55m	46.9歩
2014/4/29	織田記念	R1	10.14	+2.6	11.40m/s	65m	46.6歩
2013/4/29	織田記念	R1	10.23	+0.9	11.31m/s	55m	47.2歩
2014/4/20	出雲陸上	Wup	10.26	+2.6	11.25m/s	55m	48.1歩
2012/7/8	南部記念	FI	10.43	-1.5	10.97m/s	45m	46.5歩

※FI: 決勝、SF: 準決、R1予選

※歩数はピッチ分析を行ったレースのみ

いる。この他にレース中のピッチ、ストライドの推移を観察できるようにデータフィードバックを行っている。これらのデータのうち最もタイムの良い10秒09で走った際の最高スピードは、11.47m/秒(40-50m区間での出現)であり、個人内データでみるとやはり最高スピードが高いと記録も良いことがわかる。昨年度の織田記念陸上で桐生祥秀選手(東洋大)の10秒10で走った際には、最高スピードが60-70m区間で11.51m/秒を記録しており、高瀬選手とはやや傾向が異なることがうかがえる。こうした競技会におけるパフォーマンス分析結果は、対象集団の中から競技記録が良い選手は、どのような特徴を有するかというある法則性を明らかにすることに加え、選手個人の縦断的な記録の変化からみた個別の特性・特徴とを複眼的に観察しながら、記録向上への道しるべを提示することが重要である。

次に、図2は男子走幅跳の助走最高スピードと記録の関係を、世界選手権代表の菅井選手と兵庫リレーカーニバルで8.08m(+2.1w)を記録した嶺村選手について示した。縦断的測定結果から両選手ともに最高スピードが高い試技で記録が良い傾向があり、互いに8.00mを超えた兵庫でのスピードは高かったことが示されている。昨シーズン後の跳躍合宿において過去のデータ(全体の平均値)と個人データから8.10mの世界選手権標準を超えるためには10.50m/s程度のスピードが必要であろうと強化委員内での共通認識があったが、両選手のパフォーマンスからその予測と目標はほぼ妥当であったといえよう。一方で、更に高い記録

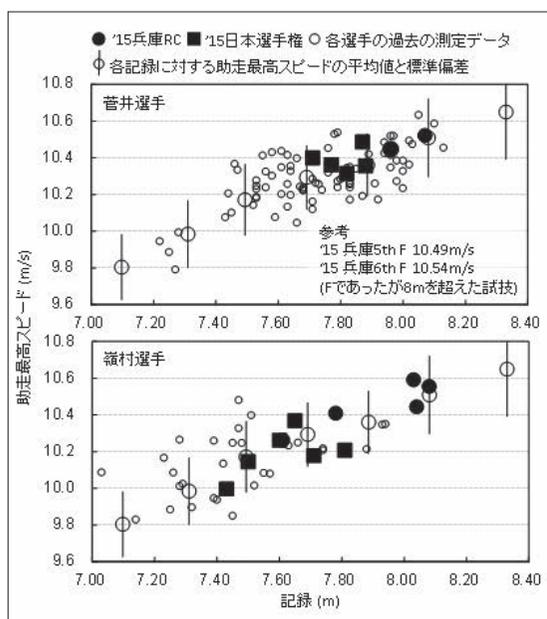


図2 男子走幅跳における記録と助走最高スピードの関係  
(15年に8.00mを超えた選手を対象に、上:菅井選手, 下:嶺村選手)

(8.20~8.40m)でのパフォーマンスの安定のためにはスピード面からは更に高いレベルが要求されることがこれらのデータから指摘されることである。

図3には混成競技の2009年から2015年までのべ16大会(右代選手14大会)に出場した各選手の100m走中の最高スピードと走幅跳の助走の最高スピードとの比較を示した。この比較図は、混成競技の走幅跳において、そもそもの走能力の最大値(=100mでの最高スピード)近くまで、走幅跳の助走スピードを高められているかどうかを確認するためのものである。これらから他の選手との比較や選手個人の経年的な変化、今シーズンの特徴など様々な観点からパフォーマンス分析を行うことができる。

#### 4. 終わりに

上記以外の本年度の活動として、7月からマラソン(男女)、競歩の暑熱対策及びコンディショニングサポート活動を強化合宿(アルバカーキ、釧路、千歳など)や実際のレース(土別)において開始し、暑熱対策の具体的方策に資する実践的なデータ収集活動を展開している。北京世界陸上、リオデジャネイロ及び東京オリンピックへ向けた幅広い包括的な支援活動をより一層、充実、発展させていく予定である。本委員会の活動成果の一部は報告レポートにまとめ、陸上競技研究紀要に毎年掲載している。さらに、バイオメカニクス研究活動報告書(インターハイ等)についても日本陸連のホームページに陸上競技研究紀要とともにアップされている。ぜひ、<http://www.jaaf.or.jp/t-f/index.html>をご参照ください。

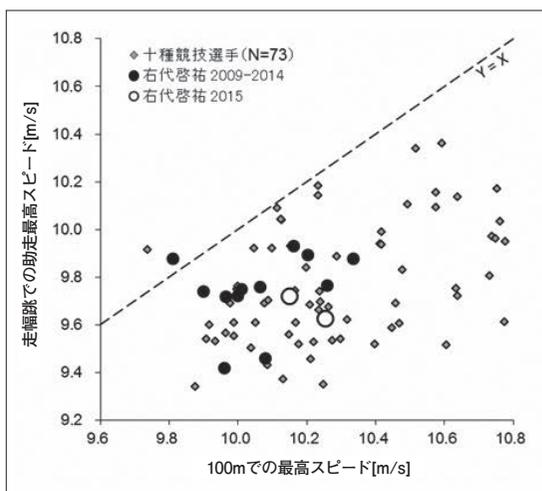


図3 右代啓祐選手の100m走の最高スピードと走幅跳助走の最高スピードとの関係



# 日本陸上競技連盟主催 ランニングクリニック 「長野マラソン レース直前対策講座とランニング相談会」報告

普及育成委員会ランニング普及部長 前河 洋一

第17回長野マラソンが4月19日、10,000人の参加者を集めて開催された。レース前日の18日、出場するランナーの受付会場となるビッグハットにおいて、今年も日本陸連主催「市民ランナーのための長野マラソンレース直前対策講座とランニング相談会」を実施した。

長野マラソンは、最近の都市型マラソンの中では比較的に厳しい制限時間5時間の大会であり、完走を目指す初心者ランナーや、記録向上を目的とした競技志向のランナーまで、多くのランナーで会場が溢れていた。同大会は申込み開始早々に定員オーバーとなる人気のレースであり、スタートラインに立つこと自体が難しい。だからこそ、ランナーのモチベーションが非情に高く、クリニックも毎年意欲的に参加頂いている。

クリニックの内容は、自由参加のトークショーとテーマを選択して参加するグループ相談会の2部構成とし、午前と午後の2回、同じ内容を実施した。トークショーは、私がファシリテーターとなり、浅井えり子氏、大嶋めぐみ氏、高橋千恵美氏をゲスト講師に、マラソンに関する基本的な知識や準備、レース前日の過ごし方など、長野マラソンの魅力を交えて参加者が気楽に聞けるような情報を提供した。特に当日のレースの攻略方法や注意点等はまさに直前対策としてランナーの皆様の興味をひいていた。また、グループ相談会はランナーのニーズに合うようにテーマを絞って、質疑応答形式とし、日頃の疑問点や不安材料の質問に対して、講師が懇切丁寧なアドバイスをを行った。

トークショーには200脚ほどの椅子を準備していたが、立ち見も多く会場が埋め尽くされていた。グループ相談会はテーマによって参加者数にばらつきがあるものの、準備した椅子30席が埋まるケースも見られた。リピーターのランナーからは、昨年のアドバイスによって「気持ちよく走れました」、「自己ベストが更新できました」、「不安なく完走できました」などと喜びや感謝の声が寄せられた。

最後に、事前準備や当日の受付など、あらゆる面でご協力いただきました長野県陸上競技協会の先生方と関係各位

に改めて感謝申し上げます。

なお翌日のレースは、好コンディションに恵まれたこともあり、フィニッシュエリアは完走したランナーの歓喜に包まれていた。

内容と担当講師は以下の通りである。

午前の部：10時30分～11時15分「1部：トークショー」  
11時30分～12時30分「2部：ランニング相談会」  
午後の部：13時30分～14時15分「1部：トークショー」  
14時30分～15時30分「2部：ランニング相談会」

- 1部：トークショー「元オリンピックランナーによるレース対策と直前アドバイス」  
浅井えり子（ランニング普及部委員）「長野マラソンの魅力とレース直前の過ごし方」  
大嶋めぐみ「レースの調整法とマラソンの走り方」  
高橋千恵美「レースに向けた食事の摂り方」  
司会：前河洋一（ランニング普及部長）
- 2部：テーマ別グループ相談会（30分の内容を2回実施）
- 1) ランニングフォームのアドバイス：園原健弘
  - 2) 初級レベルのトレーニングアドバイス：市河麻由美
  - 3) 中級レベルのトレーニングアドバイス：大嶋めぐみ
  - 4) 上級レベルのトレーニングアドバイス：渋谷俊浩（ランニング普及部副部長）
  - 5) ランナーの食事と栄養に関するアドバイス：高橋千恵美
  - 6) ランナーの健康や体調管理と内科的トラブル対処法：岡野裕（ランニング普及部委員）
  - 7) ランニング障害の予防と対処法：小嵐正治



浅井えり子講師によるレース攻略方



1部：トークショーの様子



# 2015数字で見る陸上競技Vol.1 都道府県公認競技会数

事務局

今号より、昨年に引き続き、シリーズ「数字で見る陸上競技」の連載を開始します。  
Vol.1では、2015年7月25日現在の都道府県陸上競技協会公認競技会数を掲載します。

NO	陸協名	公認競技会数
1	北海道	218
2	青森	66
3	岩手	31
4	宮城	46
5	秋田	69
6	山形	105
7	福島	92
8	茨城	68
9	栃木	42
10	群馬	111
11	埼玉	79
12	千葉	90
13	東京	153
14	神奈川	147
15	山梨	56
16	新潟	121
17	富山	47
18	石川	110
19	福井	47
20	長野	132
21	静岡	90
22	愛知	136
23	岐阜	72
24	三重	79
25	滋賀	43
26	京都	99
27	大阪	229
28	兵庫	291
29	奈良	69
30	和歌山	67
31	鳥取	56
32	島根	94
33	岡山	67
34	広島	177
35	山口	80
36	徳島	61
37	香川	58
38	愛媛	63
39	高知	59
40	福岡	123
41	佐賀	39
42	長崎	49
43	熊本	45
44	大分	43
45	宮崎	78
46	鹿児島	45
47	沖縄	41
	合計	4183

# 大会観戦ガイド

2015.8.1時点

若きアスリートの熱き戦いが続きます！  
全国小学生陸上は日産スタジアム、全日本中学陸上は札幌市厚別公園競技場、全国高校陸上選抜はヤンマーフィールド長居が激戦の地！  
是非、会場で応援して下さい！

## 平成27度全国中学校体育大会 第42回全日本中学校陸上競技選手権大会

▼期日：8月18日（火）～21日（金）

開会式 8月18日（火） 15：00～15：50  
競技会 8月19日（水） 9：00～17：30  
8月20日（木） 9：00～17：00  
8月21日（金） 9：30～16：00  
閉会式 8月21日（金） 16：30～17：00

▼会場：札幌市厚別公園競技場

札幌市厚別区上野幌3条1丁目2番1号

▼アクセス：

- ＜電車＞地下鉄大谷地駅から徒歩で約20分
- ＜バス＞地下鉄大谷地駅から
  - ・中央バス＜大66＞＜大67＞ 平岡ニュータウン線「平岡9条3丁目」下車 徒歩5分
  - ・中央バス＜大92＞上野幌線＜大94＞ 上野幌循環通線「厚別公園入口」下車 徒歩5分
- ＜バス＞地下鉄新札幌駅から
  - ・中央バス＜新93＞緑ヶ丘団地行「雇用促進住宅入口」下車 徒歩10分
  - ・JRバス・中央バス交互運行＜循環新111＞新さつ

ぼろ平岡線「上野幌2条1丁目」下車 徒歩5分

▼種目：

＜男子＞ 13種目

100 m、200 m、400 m、800 m、1500 m、3000 m、110mハードル、4×100mリレー、走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投（5.000kg）、四種競技（110mハードル、砲丸投（4.000kg）、走高跳、400m）

＜女子＞ 10種目

100m、200m、800m、1500m、100mハードル、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投（2.721kg）、四種競技（100mハードル、走高跳、砲丸投（2.721kg）、200m）

▼放映予定：

8月21日（金）14：20～16：00 NHK Eテレ

▼問い合わせ先：

（大会開催前）

平成27年度全国中学校体育大会

第42回全日本中学校陸上競技選手権大会

全日本中学校陸上競技選手権大会事務局（札幌市立八条中学校内）

TEL：011-826-3683 FAX：011-831-3090

（大会開催中）8月18日（火）～21日（金）

【昼間】厚別公園競技場

TEL：011-894-1144

【夜間】アートホテルズ札幌

TEL：011-512-3456

大会ホームページ

<http://hokkaido-rikkyo.jp/do/2015zencyu/15top.html>



昨年度の大会より（写真は男子3000m決勝）

## “日清食品カップ” 第31回全国小学生陸上競技交流大会

- ▼期日：8月22日（土）  
開会式 8：30～  
競技会 9：30～18：00
- ▼会場：神奈川県・日産スタジアム  
神奈川県横浜市港北区小机町3300
- ▼アクセス：  
JR新横浜駅から徒歩15分  
地下鉄新横浜駅から徒歩12分  
JR小机駅から徒歩7分
- ▼種目：  
＜男子＞ 8種目  
6年生100m、5年生100m、80mハードル、走幅跳、  
走高跳、ソフトボール投、4×100mリレー
- ＜女子＞ 8種目  
6年生100m、5年生100m、80mハードル、走幅跳、  
走高跳、ソフトボール投、4×100mリレー
- ▼参加者：小学生5・6年生に該当する年齢で、各都道府県での選考会を経て選ばれた代表選手22名と指導者4名とする。
- ▼放映予定  
8月29日（土）15：00～16：30 NHK Eテレ
- ▼問い合わせ先：  
日本陸上競技連盟



昨年度の大会より（写真は女子4×100m決勝）

TEL03-5321-6580 FAX03-5321-6591  
大会ホームページ  
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1280/>

## 第3回全国高等学校陸上競技 選抜大会

- ▼期日：8月29日（土）～8月30日（日）
- ▼会場：大阪府・ヤンマーフィールド長居  
大阪府大阪市東住吉区長居公園1-1
- ▼アクセス：  
地下鉄御堂筋線「長居」、JR阪和線「長居」または「鶴ヶ丘」下車。
- ▼種目：  
＜男子＞ 6種目  
300m、10000m、300mハードル、2000m障害物、  
3000m競歩、八種競技
- ＜女子＞ 9種目  
300m、5000m、300mハードル、2000m障害物、  
3000m競歩、棒高跳、三段跳、ハンマー投、七種競技
- ▼問い合わせ先：  
日本陸上競技連盟  
TEL03-5321-6580 FAX03-5321-6591  
大会ホームページ  
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1281/>



昨年度の大会より（写真は男子10000m決勝）



## 一般財団法人富山陸上競技協会

〒939-8234 富山市南中田368番地  
富山県総合運動公園陸上競技場内  
TEL.076-461-5917 FAX.076-461-5927  
http://www.jaaf-toyama.net/

本県では、4月の記録会から始まり10数回の大会を行ってきております。

また、地区大会・全国大会がないという珍しい年になりました。

しかし、急遽、8月28日(金)・29日(土)の両日に「第72回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会」を開催することになり、日本学生陸上競技連合からの要請で富山陸上競技協会が主催団体となりました。

また、秋口には富山県が中心になり、今年3月に開通した北陸新幹線開通記念として11月1日(日)の富山マラソン2015が開催されます。

高岡古城公園スタート～富岩運河環水公園ゴール、見所は富山湾、立山連峰、神通川を見ながら走る、中でも高さ47mの新湊大橋を渡る時の爽快感は他では体験できないと思います。参加者も12,000名と大規模になり、テレビ中継も企画されている様で、ますます、緊張感を持って競技運営に当たりたいと思います。

富山陸上競技協会が主催に入り現在、各部署の審判配置を進めているところです。

全国から多数のランナーの皆さんがいらっしゃいますので心からのおもてなしの心で対応してまいります。

また、役員改選があり理事34名、監事2名が選任され、平成27年度・28年度2カ年の任期でスタートいたしました。



## 一般財団法人石川陸上競技協会

〒923-1244 能美市来丸町ワ50 物見山陸上競技場内2階  
TEL.0761-51-3222 FAX.0761-51-3222  
http://gold.jaic.org/jaic/member/ishikawa/index.htm

3月に開催された第39回全日本競歩能美大会にて、石川県出身の鈴木雄介選手(富士通)が20km競歩で1時間16分36秒の見事な世界新記録で地元の花を添えてくれ、また、4月に開催された第54回全日本競歩輪島選手・第99回日本陸上競技選手権大会50km競歩でも、元石川陸協登録であった荒井広宙選手(自衛隊体育学校)があと8秒で日本記録にせまる3時間40分20秒の記録で優勝し県内でも大いに盛り上がった大会であり、石川県に大きな勇気と活力を与えてくれました。両名の第15回世界陸上競技選手権大会での活躍を期待したいと思います。

新潟県で開催された第99回日本陸上競技選手権大会で、本県選手では男子走高跳で太田和宏選手(金沢星稜大学)ならびにハンマー投で遠藤克弥選手(Team綺麗星)が7位、女子では中村水月選手(大阪蹊蹊大学)が100mで7位、200mで4位と入賞し、その健闘を賞讃し今後さらなる活躍を期待するとともに、これから行われます第42回全日本中学校陸上競技選手権大会、第31回全国小学生陸上競技交流大会に参加する選手の大きな励みになったことに感謝したいと思います。

さて今年度、本協会では役員改選により、会長に永江庸悦氏と副会長に高澤 基氏、宮地 治氏が再任され、大岩為一氏と山本 徹氏の2名が新しく副会長に選任され、また専務理事には藤垣晴夫氏が再任され、新役員・理事が決定し新体制でスタートを切ることとなりました。

今後ともよろしく願い申し上げます。



## 一般財団法人福井陸上競技協会

〒918-8585 福井市三十八社町33-66 フクビ化学工業株式会社内  
TEL.0776-38-0360 FAX.0776-38-0361  
http://www.fukui-jaaf.com/

平成27年7月22日(水)、平成30年に『福井しあわせ元気国体2018』が開催されることが正式に決定いたしました。ここに至るまでに、爾々と準備はすすめられていましたが、正式の決定を受け、あらためて気の引き締まる思いになっております。

人口80万人の福井県でどれだけのことができるかわかりません。現在、陸上競技協会としても競技運営・選手強化・審判員養成・審判員増員など抱えている課題は多く、陸協役員の皆様には多大なるご負担をおかけしています。しかし「地方創生」が叫ばれる昨今、真の地方創生とは、我々地方に居を構えるもの達の意識のあり方であると考えています。

人口80万人の小規模県であっても、準備に関わる人数が少ない状況であっても大きなイベントを必ずやり遂げます。

選手強化の面では吉田良一強化委員長(足羽高校)を中心に、強化を進めております。決して陸上競技の強豪県とはいえませんが、数少ない選手を大切に工夫に工夫を重ねて大切に育てていきたいと思っております。

競技場も新しくスタジアムを建設していません。現存の競技場を改修した程度でした。大きなスタジアムは建てられなかったものの、非常にコンパクトで、観客と選手との距離が短く臨場感あふれるよい雰囲気を作る競技場になっていると思います。

そして、何よりも『幸せ度日本一の福井県民』が温かいもてなしの心で、皆様をお迎えいたします。皆様、2018年福井県で大活躍し福井国体から東京オリンピックへを目指す選手が多数出現することを祈っています。(文責:専務理事 木原靖之)



## 一般財団法人長野陸上競技協会

〒381-0038 長野市東和田632 長野市営陸上競技場内  
TEL.090-1867-7044 FAX.026-241-5155  
http://nagano-rk.com/

長野陸協は4月に新体制となりそれぞれの「連携」を重視し、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会のコンセプトとされる「Athlete First」について定義や内容を理解しその実現を目指しています。

そのひとつが今年で4回目となった「第99回日本陸上競技選手権大会混成競技」の開催です。「器」が整わない長野市営陸上競技場に於いて、世界を目指す競技者が最高のパフォーマンスを發揮できる環境整備、競技役員への対応等々課題山積でのスタートでしたが、風間明日本陸上競技連盟事務局長はじめ皆様方のご指導、本田陽日本陸連強化委員会混成部長を中心に現場重視とヨーロッパスタイルの競技会運営アドバイス、日本陸連JTOの方々のご指導、そして選手・監督の皆様方の貴重なご意見等により、少しずつ進化し今回初めて予定どおり終了することができました。ロンドンオリンピック競技大会、アジア大会そして今回は右代啓祐選手(スズキ浜松AC)・中村明彦選手(スズキ浜松AC)の第15回世界陸上競技選手権大会代表選考の舞台となり感激しています。改めて皆様方に感謝致します。また、今年で17回目を迎えた「長野マラソン」は、組織委員会・実行委員会が中心となり参加者本意の大会・競技運営を常に心掛けています。これら二つの日本陸上競技連盟主催大会の実践が、県内各種競技会へトランスファアされることを実感しています。そして、明年は全日本中学校陸上競技選手権大会と創立70周年事業を控え準備に追われています。全日本中学校陸上競技選手権大会開催地「松本」は昭和53年「やまびこ国体」のままでハード面を如何にソフト面の充実で補うか、参加される中学生やご関係の皆様の方に残る大会として頂くために最善を尽くしたいと思います。その他、競技者の進路先確保とセカンドキャリア支援が大きな課題です。今後ともよろしく願い申し上げます。



## 事務局からのお知らせ

### ◆◆日本陸上競技連盟マラソンメディスンセミナー 2015を開催します！◆◆

日本陸上競技連盟医事委員会では、安全なマラソン大会の運営に寄与することを目的に、さまざまな事態を想定したうえで、主催者側がどのような医療体制を構築すべきか、を中心としたマラソンメディスンセミナー 2015を開催します。

日 時：2015年9月27日（日）13：00～17：00（予定）

会 場：東京都北区 味の素ナショナルトレーニングセンター

対象者：マラソン大会（42.195km）の医事責任者と事務局

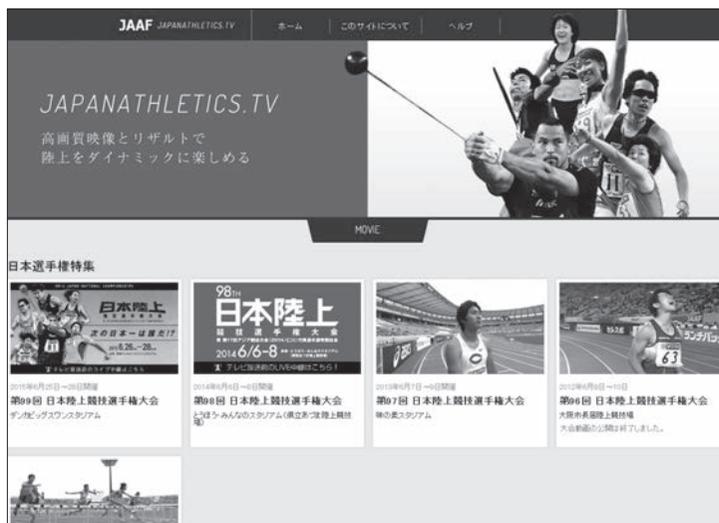
※詳細につきましては、本連盟ウェブサイト <http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html> にて。

### ◆◆JAAF JAPAN ATHLETICS.TVで大会動画をチェックしよう！◆◆

日本陸上競技連盟公式動画サイト(JAPAN ATHLETICS.TV)では、第99回日本陸上競技選手権大会の動画をはじめとして、各種大会の映像をご覧いただけます。

「千葉国際クロスカントリー」「全国中学校駅伝大会」「全国高等学校駅伝競走大会」「ジュニアオリンピック」「日本陸上競技選手権大会リレー競技大会」など、大会動画をご堪能ください。

公式動画サイト <http://japanathletics.tv>



### 陸連時報編集委員

#### ◇編集委員

横川 浩（陸連会長）  
友永 義治（陸連副会長）  
八木 雅夫（陸連副会長）  
尾縣 貢（陸連専務理事）  
原田 康弘（陸連強化委員長）  
風間 明（陸連事務局長）  
牧野 豊（陸上競技マガジン編集長）

#### ◇時報編集室責任者

大嶋 康弘  
◇時報編集担当  
繁田 進  
石塚 浩  
木越 清信  
宮田 宏  
高橋 祐哉  
小川ちあき

### 陸連時報編集室

〒163-0717  
東京都新宿区西新宿2-7-1  
小田急第一生命ビル17階  
公益財団法人日本陸上競技連盟 内  
TEL 03-5321-6580  
FAX 03-5321-6591  
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>  
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>